

## 実践報告資料

研究テーマ 『「他者理解につながる人権教育の充実」

～「違い」を知り～多様な価値観を認め合おう～ 』

研究内容【(1)、(2)、(3)、(4)】

学校名 ( 豊岡市立城崎小学校 )

<p><b>ア 人権教育としてのねらい</b>                  すべての児童が自身を肯定的に受け入れ、自己実現を図るための土台となる力を育成する。                  自分と他者の「違い」を理解することを通して、多様な個性や価値観を認め合う素地を養う。                  すべての児童が多様な個性や価値観をもつ仲間として、共生の資質を育成する。</p>				
<p><b>イ 研究の概要</b>                  人権教育資料を効果的に活用し、自他の「違い」や多様な個性を理解させるとともに、多文化共生の態度を養うことができる授業づくりを行う。また、豊岡市人権教育推進協議会城崎支部（地域・城崎こども園・城崎中学校）等、関係機関との連携を強化し、研修を充実させる。</p>				
領域	教科	道徳 (特別の教科 道徳)	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	推進教員	推進教員	推進教員	人権擁護委員 推進教員
実施日	10月5日	6月22日・2月7日	7月19日・2月7日	11月30日
取組名	人権集会 縦割り合同体育	学級の仲間の考えていることを知ろう	〇〇を合わせよう	スマホケータイから学ぶ人権教室
目 標	異学年の仲間と関わる楽しさを体験し、仲間の良さを認め合うことができる。	友だちの思っていたことを知り、学級をより良くしていこうとする態度を養う。	「息」や「心」などを合わせる活動を通して、他者を理解しようとする態度を養う。	自分や相手の人権を大切にした言葉の使おうとする態度を養う。
資料名	絵本「しあわせのパケツ」 体育「からだづくり運動」	「あったらいいなこんな学級」(自作資料)	学級活動	自作資料(パワーポイント)
指導内容 や指導方法の工夫等	縦割り合同体育の事前指導として、「人権集会」を行う。「しあわせのパケツ」を読み、仲間の良さに気付かせる。 1年生と5年生で合同体育をする。 5年生が「豊岡市の準備体操」を教える。 合同で「ボール運び運動」に取り組む。 5年生が「ダンス」を教える。 ふり返りを通して仲間の良さや思いやりの行動に気付かせる。	児童たちと授業の進め方や約束を確認する。 「いやだなと思う学級」について考えを発表させる。これらの言動は自分たちの学級で起こっている自分ごととして捉えさせる。 「あったらいいなこんな学級」について考え発表させる。どうすれば「あったらいいなこんな学級」になるか考えさせる。 ふり返りをさせ、次時への見通しをもたせる。	「あったらいいなこんな学級」で決めた「授業の約束」や「がんばるめあて」のふり返りをする。 めあてを示す。 「〇〇を合わせる」活動に取り組む。 ・人間時計 ・友だちビンゴ ・しゃべっちゃダメよ ・スパイをさがせ ・学級写真をとろう ふり返りをさせる。 友だちを知り、合わせようとすることの良さに気付かせる。	身近な話題を取り上げ、想いを共有できる体験をする。 「大谷選手、すごい」「すごい、すごい。」 めあてを示す。 「あゆみちゃんのLINEは、なぜ炎上したのだろう。」 文字としての言葉は、使い方によって伝わり方が変わる体験をする。 体験を通して考えたことを話し合わせる。 ふり返りをする。